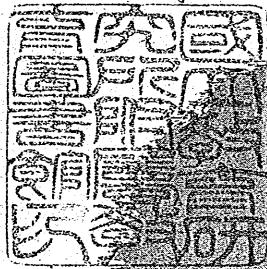


28  
九  
八  
七  
六



ウカ  
カ

ウヤ  
アシモ

# モ ク ロ ク

山ノ上

四

アシタハ ウンドウクワイ

七

ウサギト カメ

十二

ラジオノ コトバ

十六

西ハ タヤケ

十八

カマキリヂイサン

二十二

サルトカニ

二十三

オチバ

三十一

イモヤキ

三十三

コモリウタ

三十八

オイシャサマ

四十

デンシャゴツコ

四十四

ケンチャン

四十六

冬

五十

お正月

五十六

兵タイゴツコ

六十五

ネズミノ ヨメイリ

七十七

シヤシン

八十

カゲエ

八十六

日本の しるし

九十四

花サカヂヂイ

九十六

ユメ

九十八

机とこしかけ

九十九

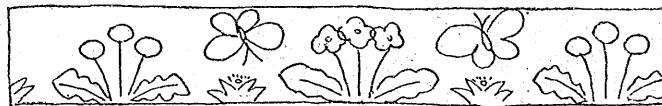
ウグヒス

百二

つくし

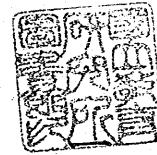
百三

汽車



カラー資料

一 山ノ上



山ノ上

ムカフノ 山ニ  
ノボツタラ、

山ノムカフハ  
村ダツタ、

タンボノツヅク

村ダツタ。

ツヅクタンボノ

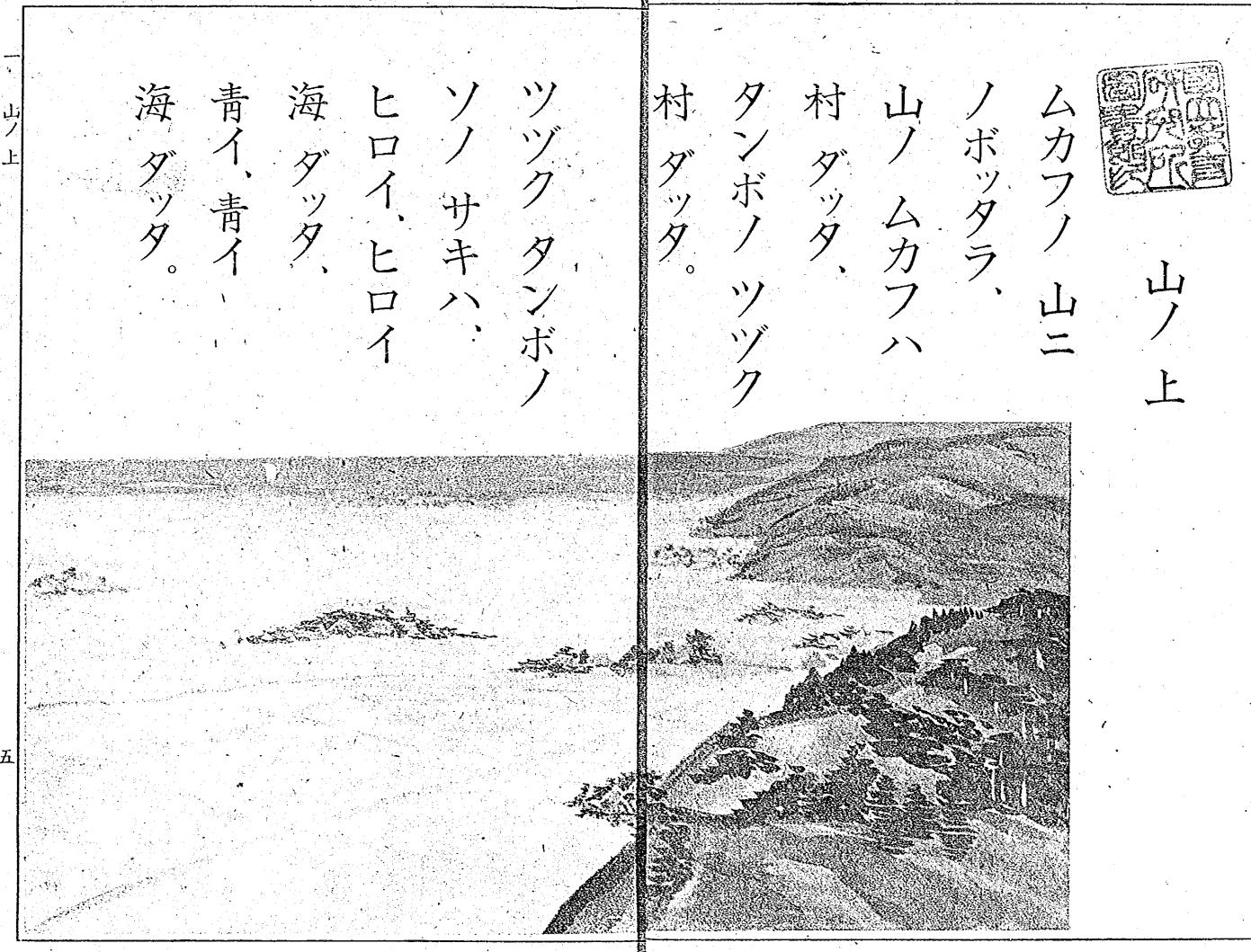
ソノサキハ、

ヒロイ、ヒロイ

海ダツタ、

青イ、青イ、

海ダツタ。



一 山ノ上

五

四

以下 カラー資料

一 ヴ 上

六

小サイ シラホガ

ニツ 三ツ、

青イ 海ニ

ウイテ 年タ、

トホクノ方ニ

ウイテ 牛タ。



ニ アシタハウンドウクワイ

ヒルスギカラ、空ガ クモツ  
テ 来マシタ。



アシタハウンドウクワイ  
デス。勇サンハ、天キガシ  
ンバイデタマリマゼン。

外ヘ 出テ、空バカリ 見テ

二 アシタハウンドウクワイ

七

キマス。

勇サンハ、カミデ テルテルバウズヲツクリ  
マシタ。ソレヲ ニハノ木ノ枝ニツルシテ、  
テルテルバウズ、

テルバウズ、

アシタ 天キニ

シテ オクレ。

ト ウタヒマシタ。

ケレドモ、空ハ、ダンダン クラク ナッテ 来  
マシタ。トウトウ 雨ガ フリダシマシタ。テ  
ルテルバウズハ、ビショヌレニ ナッテ、ナイ  
テ キマス。

少シタツテカラ、勇サンハ、オカアサンニ イ  
ヒツカツテ、ハガキヲ 出シニ イキマシタ。  
勇サンハ、「雨ガ フツテ ツマラナイナア」ト  
イヒナガラ、カサヲ サシテ 出カケマシタ。

少シイクト、トケイヤ

ノ店カラ、ラジオガキ

コエテ來マシタ。

「コンヤハ 雨デスガ、

アスハヨイ天キニ

ナリマス。」

勇サンハ、ウレシクテ

タマリマセン デシタ。

大イソギデハガキヲ 出シテ、ウチヘカヘリ

マシタ。

「オカアサン、アシタハ オ天キ デス。ラジ

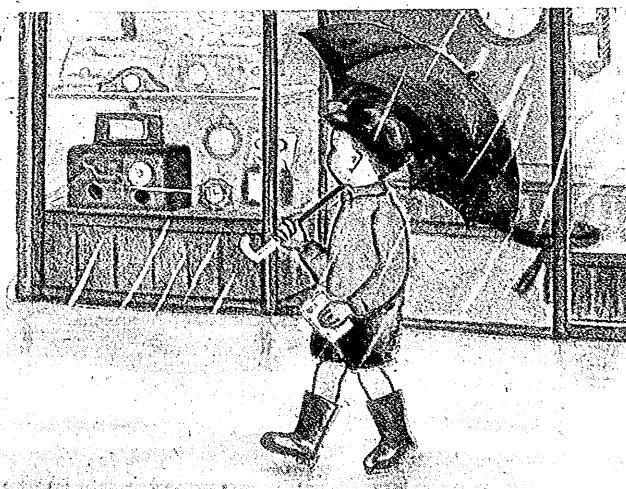
オガサウイヒマシタヨ。」

トイヒマスト、オカアサンハ、

「マア、ヨカッタネ。デハ、オイシイオヘン

タウラコシラヘテアゲマスヨ。」

トイオツシャイマシタ。」



### 三 ウサギト カメ

ウサギ 「カメサン、コンニチハ。」

カメ 「ウサギサン、コンニチハ。」

ウサギ 「ナニカ、オモシロイコトハ ナイカナ。」

カメ 「サウダネ。」

ウサギ 「カケツコヲ シヨウガ。」

カメ 「ソレハ オモシロイ。」

ウサギ 「デモ、ボクノ カチニ キマツテ キルナ。」

カメ 「ソンナコトハ ナイヨ。」

ウサギ 「デハ、ヤラウ。ケツシヨウテシハ、アノ山  
ノ上 グヨ。」

カメ 「山ノ上。イイトモ。」

ウサギ 「ヨウイ、ドン。」

ウサギ 「オソイ カメサン ダナ。アンナニ オク。」

レテ シマツタ。

コノヘンデ、ヒル。

ネヲ シヨウ。

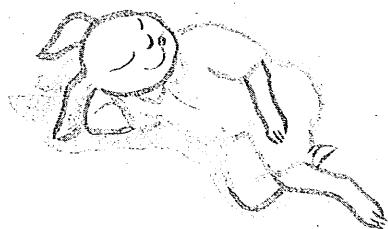
グウ グウ グウ。

カメ「オヤ オヤ、ウサギサン、

ヒルネヲ、シテ キルゾ。

イマノウチニ オヒ

コサウ。急ゲ、急ゲ。



ウサギ「アア、イイキモチ ダッタ。マダ、カメサ

ンハココマデ 来ナイダラ  
ウ。ドレ、出カケヨウカナ。

オヤ、山ノ上ニ ダレカヰ

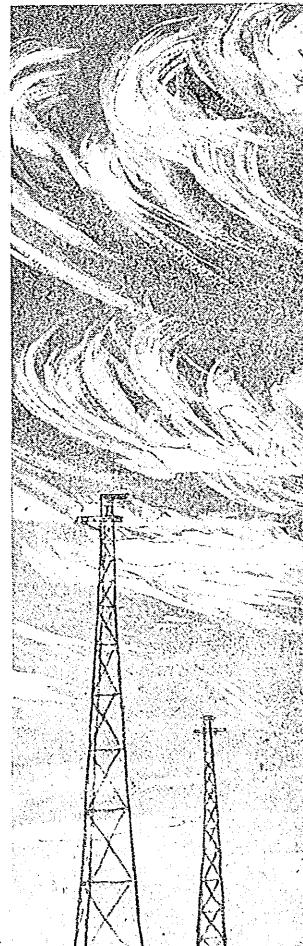
ルゾ。」

カメ「バンザイ。」

ウサギ「ヤア、カメサン ダ。シマツ  
タ、シマツタ。」

## 四 ラジオノコトバ

十六



## 四 ラジオノコトバ

日本ノラジオハ、

日本ノコトバヲハナシマス。

正シイコトバガ、

キレイナコトバガ、

日本中ニキコエマス。

マンシウニモトドキマス。

シナニモトドキマス。

セカイ中ニヒビキマス。

## 四 ラジオノコトバ

十七

## 五 西ハタヤケ

勇サンハ、マンシウノ  
ヲヂサンカラ、本ヲ  
オクツテ イタダキマ  
シタ。マンシウノ 予  
ドモタチノ ヨム 本  
デシタ。

一バン ハジメニ、マ  
ンシウノ 空ノ ウツ  
クシイ コトガ、カイ  
テアリマシタ。ソレ  
カラ、ヒロイ、ヒロイ  
ノハラニ、カウリヤン  
トイツテ、日本ノ キ  
ビニニタ モノガデ

キルコトガ、カイテアリマシタ。  
ヨンデイクウチニ、ツギノヤウナウタガ  
アリマシタ。

西ハタヤケ赤イクモ、

東ハマルイオ月サマ、

カウリヤンカツテヒロイナア、  
ドツチヲ見テモヒロイナア。

ヒロビロトシタマンシウヘ、勇サンハイツ  
テ見タクナリマシタ。

勇サンハ外へ出テ、ムネヲハリナガラ、イ  
キヲイッパイスヒコミマシタ。サウシテ、  
大キナコエデウタヒマシタ。

西ハタヤケ赤イクモ、

東ハマルイオ月サマ、

カウリヤンカツテヒロイナア、  
ドツチヲ見テモヒロイナア。

六 カマキリヂイサン

カマキリヂイサン  
イネカリニ、

カマヲ カツイデ  
アゼミチヲ、

トホイタンボへ  
急ギマス。

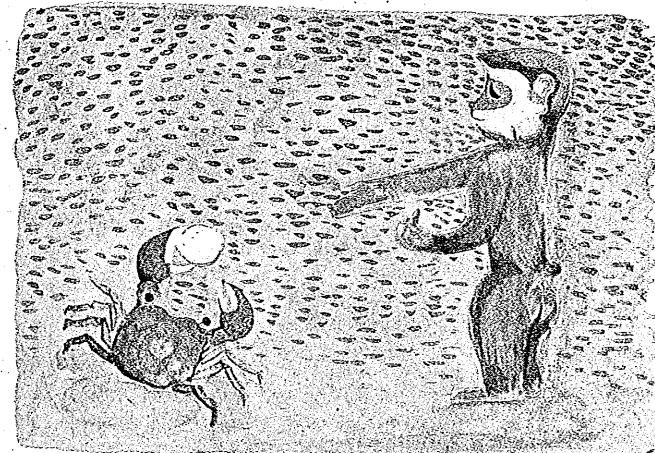
キレイニ ハレタ

秋ノ 日ニ、

トホイ タンボへ  
急ギマス。

七 サルト カニ

サルガ、柿ノタネヲ ヒロヒマシタ。  
カニガ、ニギリメシヲ ヒロヒマシタ。



サルハ、カニニイツ  
テ、柿ノタネトトリ  
カヘッコヲシマシタ。  
サルハ、ニギリメシヲ  
オイシサウニタベマ  
シタ。

「早クメヲ出セ、

柿ノタネ。

早クメヲ出セ、

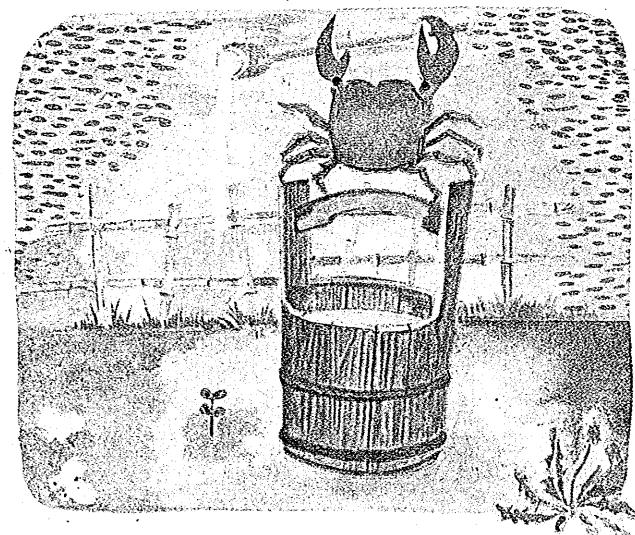
柿ノタネ。」

メガ出マシタ。

「早ク木ニナレ、

柿ノタネ。

早ク木ニナレ、



柿ノタネ。

木ニナリマシタ。

「早クミガナレ、柿ノタネ。

早クミガナレ、柿ノタネ。

大キナ柿ガタクサンナリマシタ。

サルガアソビニ來マシタ。

「ボクガトツテアゲヨウ。」

トイツテ、木ニノボリマシタ。長イ手ヲノ

バシテ、柿ヲイクツモ

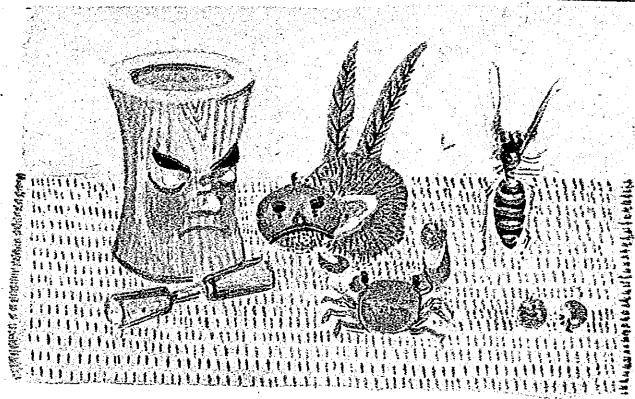
イクツモトリマシタ。

サルハジブンバカリ  
タベマシタ。シマヒニ、



青イ柿ヲカニニナゲ  
シタ。  
カニハ大ケガラシマシ





タ。

ソコへ、ハチガ來マシタ。  
ウスガ來マシタ。

栗ガ來マシタ。

ミンナデ、サルヲ コラス  
コトニ シマシタ。

サルヲ ヨビニ ヤリマシタ。  
サルガ、カニノウチへ來

テ、ヒバチノ前ニスワリマシタ。

灰ノ中ニ カクレテ キタ 栗ガ、サルニポン  
トトビツキマシタ。サルハ「アツイ、アツイ」  
トイツテ、水ヲ カケニイキマシタ。

水ガメノ 中ニ カクレテ キタ ハチガ、サル  
ノカホヲ チクリトサシマシタ。サルハ「イ  
タイ、イタイ」トナイテ、戸グチノ方ヘニ  
ゲマシタ。ウスガ、上カラ ドシント オチテ

來マシタ。

ソコへ、カニガ來

マシタ。栗モ來

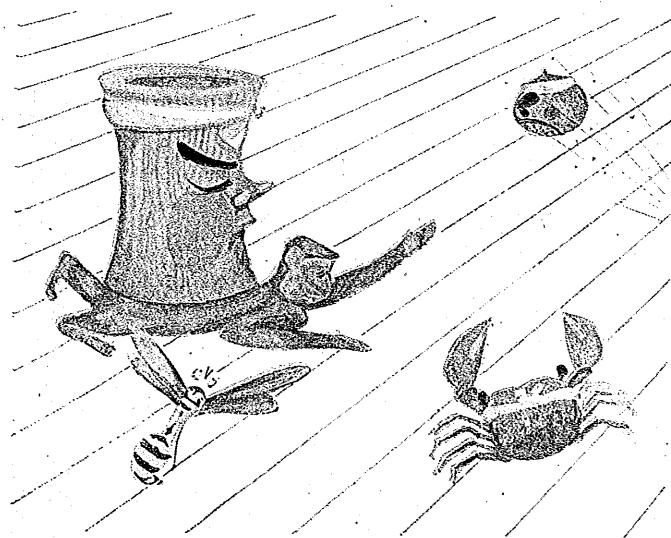
マシタ。ハチモ來

マシタ。

サルハ、ジブンガ

ワルカツタトアヤ

マリマシタ。



ハ オチバ

キヌ子サンント 花子サンガ、オチバヲヒロヒ  
ニ、林ノ中ヘ行キマシタ。

キイロナハヤ、マツカナハガ、タクサン  
オチテキマス。

アルクト、カサカサ音ガシマス。

キヌ子サンガ、キイロナハヲ一マイヒロツ

テ、日ニスカシナガラ、

「ハノスヂガ、キレイ

ニ見エマスヨ。」

トイヒマシタ。

花子サンガ、モミヂノ

ハヲヒロッテ、

「コレヲオシバニシ  
マセウ。」

トイヒマシタ。

小トリガ、チチチチトナイテキマス。

九 イモヤキ

「ケフハ、ハタケノカタヅケヲシヨウ。」

ト、オトウサンガオツシヤイマシタノデ、オカ  
アサンモ、ボクモ、弟モ、ハタケニ出マシタ。  
ミンナデ、アチラコチラニオチテキル木

ノ枝や、カレ草ナドヲ、ヒトトコロニアツメ  
マシタ。ソレニ、オトウサンガ火ヲオツケニ  
ナリマシタ。ケレドモ、スグ消エマシタ。  
オカアサンガ、カンナクヅラモツテ オイデ  
ニナリマシタ。コンドハ

ヨクモエマシタ。ミン

ナデ、カレ枝やオチバヲ  
カブセルト、パチパチト

モエアガリマシタ。

第八、

「エンマクダ、エンマク  
ダ。」

トイツテ、ヨロコビマシ  
タ。

オカアサンガ、大キナオ

イモヲニツモツテ來テ、灰ノ中へオ入レ



ニナリマシタ。

「早クヤケナイカナ。」

ト、弟ガイヒマシタ。ボクハ、

「ゾンナニ早クハヤケナイヨ。」

トイツテ、弟ト、オトナリノウサギノ子ヲ  
見ニ行キマシタ。ウサギノ子ハ、五ヒキヰ  
テ、ヒトカタマリニナツテキマシタ。

オイモノコトヲオモヒ出シテ、マタハタケ  
ヘ行キマシタ。オイモノニホヒガ、オイシ  
サウニシテキマシタ。

オトウサンガ、  
「ドレ、ドレ。」

ト、灰ノ中ヲサガシテ、

「ヤケタ、ヤケタ。」

ワタクシタチハオイシクタベマシタ。

十 コモリウタ

十 コモリウタ

三十八

ネンネン コロリヨ、

オコロリヨ。

バウヤハヨイ子ダ、  
ネンネシナ。

バウヤノオモリハ、

ドコヘ行ツタ。

アノ山コエテ、

里へ行ツタ。

里ノミヤゲニ、

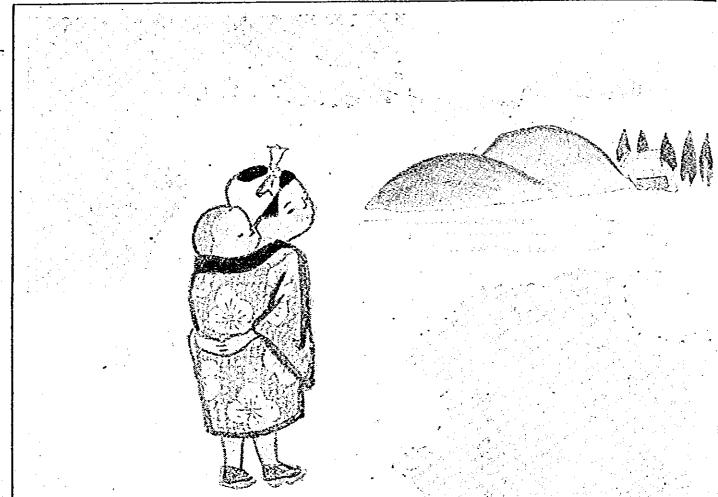
ナニモラツタ。

デンデンダイコニ、

シャウノフエ。

十 コモリウタ

三十九



## 十一 オイシャサマ

花子サンハ、人ギヤウガ 病氣ニ ナツタノデ、  
オイシャサマヲ ヨビマシタ。

オイシャサマハ 正男サン デス。オトナノ  
バウシヲ カブツテ、大キナ カバンヲ モツテ、  
ハイツテ 来マシタ。

「ゴ病人ハ ドチラ デスカ。」

「アチラニ ネテ ラ  
リマス。」

花子サンハ、正男サン

ヲ オクヘ トホシマ

シタ。

正男サンハ、人ギヤウ

ノ ソバニ スワリマ

シタ。



正男サンハ、人ギヤウノ 手ヲ トリマシタ。ヒ  
タヒニ サハツテ ミマシタ。 オナカラ オサ  
ヘテ ミマシタ。

正男サンガ、アンマリ ジャウズニ、オイシャ  
サマノ マネラ スルノデ、花子サンハ、急ニ  
ヲカシク ナリマシタ。 デモ、笑ハナイデ、ジツ  
ト ガマンシテ キマシタ。

正男サンハ、ティネイニ ミテカラ、

「ダイシテ ワルクハ  
ナイヤウ デス。 タベ  
スギ デスネ。」

ト、マジメナ カホヲシ  
テ イヒマシタ。

花子サンハ、トウトウ  
笑ヒダシマシタ。 正男

サンモ 笑ヒダシマシタ。



十二 デンシャゴッコ

ウンテンシユハ キニダ。

シヤシヤウハ ボクダ。

アトノ 四人が、

デンシャノ オ客。

「オノリハ オ早ク、

ウゴキマス、チン チン。」

ウンテンシユハ ジヤウズ。

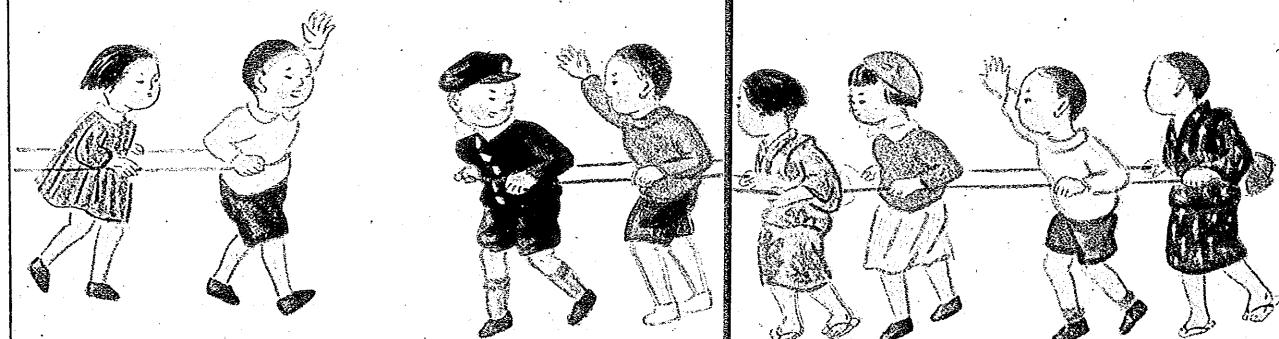
デンシャハ 早イ。

ツギハ ボクラノ

学校前 ダ。

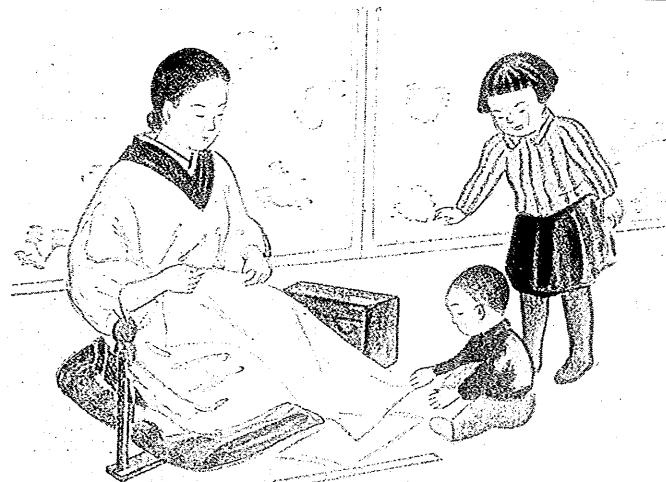
「オオリハ オ早ク、

ウゴキマス、チン チン。」



十三 ケンチャン

四十六



十三 ケンチャン

オカアサンガ、キモノ  
ヲ ヌツテ イラッシャ  
イマシタ。ケンチャン  
ガ ソバへ 行ツテ、ハ  
リバコニ サハツタリ、  
キレヲ ヒツバツタリ

シマシタ。

オカアサンガ、

「キヌ子サン、チヨツトケンチャンヲ ツレテ、  
ワンワンヲ 見ニ 行ツテ、チャウダイ。」

ト オツシャイマシタ。

私ハ、ケンチャンヲ ツレテ、外へ 出マシタ。

私ハ、オトナリノ 前へ 行ツテ、

「シロ、シロ。」

十三 ケンチャン

四十七

ト 呼ビマシタ

ガ、シロハキマ。

センデシタ。

ツトムサンノ

ウチノ前ニ、馬

ガキマシタ。

ケンチャンガ、

「オンマ、オン



マ。

トイヒマシタ。

馬ハ、ラケノ中ヘ、カホラ 入レテ、カヒバヲ  
タベテ、キマシタ。

タベナガラ、トキドキ シッポヲ フツテ、キマ  
シタ。

ケンチャンハ、ニコニコシテ 見テ、キマシタ。

十四 冬

一

ケサ、ハジメテ 池ノ水ガコホリマシタ。  
妹ガ、

「キンギョヤコヒハ、ドウシ  
テキルデセウネ。」

トシンバイサウニイヒマシ

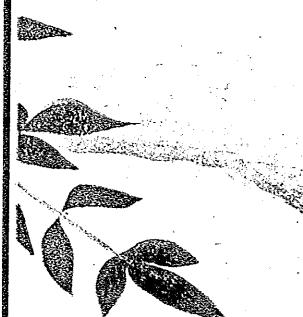
タ。私ガ、

「ドコカニカクレテキルノ  
ダラウ。」

トイヒマスト、妹ハ、

「氷ガハツテ、サカナタチハ  
サムイデセウネ。」

トイヒマシタ。



二

雪ヤ コンコ、

アラレヤ コンコ、

竹ノハニツモレ、

松ノ木ニツモレ、

ドンドンツモレ。

妹ハウタヒナガラ、前力ケヲ ヒロゲテ、フツ  
テ來ル雪ヲウケテキマス。

雪ハ、アトカラ アトカ  
ラフツテ來マス。

ナカヨクナランデ、フツ  
テ來ルノモアリマス。

オツカケッコヲ シナガ  
ラ、フツテ來ルノモア  
リマス。 トンボガヘリ  
ヲシナガラ、フツテ來ルノモアリマス。



三

ニイサント 二人デ、雪ダルマヲ ツクリマシタ。

ハジメニ、雪ノタマヲ コシラヘテ、ソレヲニ  
人デ、コロガシマシタ。スルト、ダンダン 大  
キクナッテ、コロガスコトガ デキナク ナ  
リマシタ。コンドハ、少シ 小サイノヲ コシ  
ラヘテ、大キイノニ カサネマシタ。ソレカラ、

炭デ 目ト 口ヲ ツケマシタ。

ヨルニ ナッテ、私ハ ニイサンニ、

「雪ダルマヲ 見テ 来マセウ。」

トイツテ、二人デ

外へ 出マシタ。

月ガ 光ツテ キマシタ。

雪ダルマハ、ドツカリ

スワツテ キマシタ。

十五 お正月

十五 お正月

五十六



お正月 来い、山から来い。  
山の うらじろ 持つて 来い。

お正月 来い、里から来い。

おもちつきつき とんで 来い。

お正月 来い、海から来い。

たからの お舟に のつて 来い。



十五 お正月

五十七

## 十六 兵タイゴッコ

勇サンハ、オモチャノ テツ、ハウヲ 持ツテ、  
 「ボクハ ホ兵 ダヨ。」  
 トイヒマシタ。



正男サンハ、竹馬ニ ノツテ、

「ボクハ キ兵 ダヨ。」

トイヒマシタ。

太郎サンハ、竹ノ ツツヲ 持ツテ、



勇サンハ、オモチャノ テツ、ハウヲ 持ツテ、

「ボクハ ホ兵 ダヨ。」

トイヒマシタ。

「ボクハハウ兵ダヨ。」

トイヒマシタ。

ルヲ持ッテ、

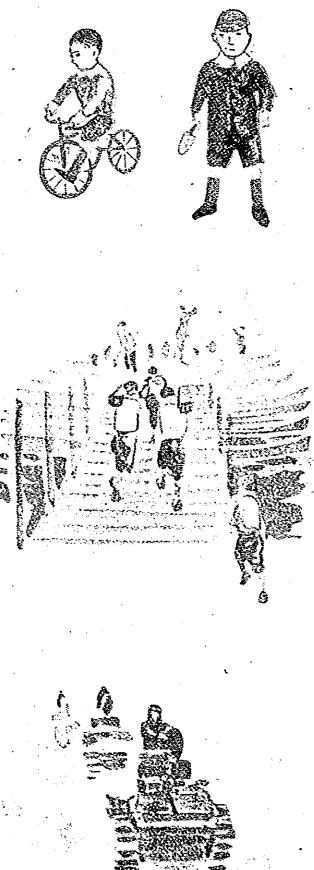
「ボクハ工兵ダヨ。」

トイヒマシタ。

勇サンノ弟ノ正次サンハ、三リンシャニノツテ、

「ボクハセンシヤ兵ダヨ。」

トイヒマシタ。



ユリ子サンノ弟ノ秋男サンハ、ラリガミノ

グライダーラ持ッテ、

「ボクハ カウクウ兵 ダヨ。  
トイヒマシタ。」

花子サンノ弟ノ一郎サンハ、オモチャノジ  
ドウシャヲ持ツテ、



「ボクハ シチヨウ兵 ダヨ。」

トイヒマシタ。

花子サント ユリ子サンハ、

「私タチハ カンゴフニナリマセウ。」



トイヒマシタ。

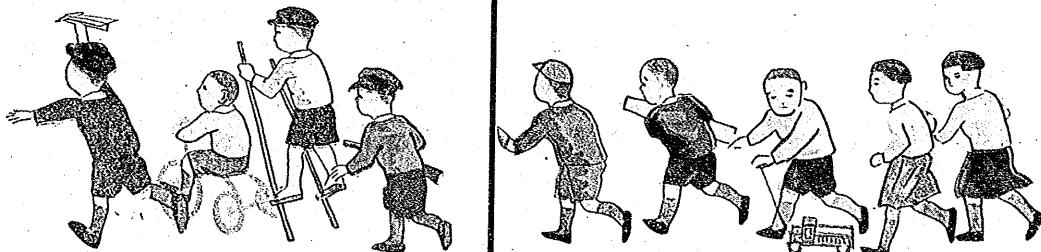
カタカタ カタカタ、  
パンポン パンポン、  
兵タイゴッコ。

カタカタ カタカタ、  
パンポン パンポン、

ボクラハツヨイ。

カタカタ カタカタ、  
パンポン パンポン、  
ススメヨ ススメ。

十七 ネズミノ ヨメイリ



ネズミノ 赤チャンガ 生マレマシタ。ダンダ

十七 ネズミノ ヨメイリ

六十五

ン 大キク ナッテ、ヨイ ムスメニ ナリマシタ。  
 オトウサンノモ オカアサンノモ、大ヨロコビデ、  
 「ホンタウニ ヨイ 子ダ。コンナ ヨイ 子ヲ、  
 ネズミノ オヨメサンニ スルノハ ラシイ。セ  
 カイ中デ 一バン エライ カタノ  
 オヨメサンニ シタイ。」ト 思ヒ  
 マシタ。

オトウサント オカアサンハ、サウダンシテ、

オ日サマノトコロヘ オヨメ  
 ニ アゲル コトニ シマシタ。  
 ネズミノ オトウサンハ、オ日  
 サマノ トコロヘ 行ッテ、



「私ノ ウチニ、タイヘン ヨイ ムスメガア  
 リマス。セカイ中デ、一バン エライ カタ  
 ノ トコロヘ、アゲタイト 思ヒマス。一バ  
 ン エライ カタハ、アナタ デス。ドウカ、

私ノムスメヲモラツテクダサイ。  
トタノミマシタ。

オ日サマハ、

「アリガタイガ、オコトワリシマセウ。セカ  
イ中ニハ、私ヨリモットエライ人ガヰ  
マスカラ。」

トオッシャイマシタ。

ネズミノオトウサンハ、ビックリシテ、

「ソレハダレデスカ。」

トタヅネマシタ。

オ日サマハ、

「ソレハ雲サンデス。イクラ私ガテツテ  
ヰテモ、雲サンガ來ルト、カクサレテシマ  
ヒマス。雲サンニハカナヒマセン。」

トオッシャイマシタ。

ネズミノオトウサンハ、雲ノトコロヘ行ツ

テ、

「セカイ中デ、一バン エライ アナタニ、ムス  
メヲ アゲタイト 思ヒマス。」

トイヒマシタ。

雲モ コトワリマシタ。

「セカイ中ニハ、私ヨリ モット エライ 人ガ  
キマスカラ。」

トイヒマシタ。

ネズミノ オトウサンハ、ビックリシテ、

「ソレハ、ダレ デスカ。」

トタヅネマシタ。

雲ハ、

「ソレハ 風サン デス。イクラ 私ガ 空デ

イバツテ 占テモ、風サンガ 來ルト、吹キト

バサレテ シマヒマス。風サンニハ カナヒ

マセン。」

トイヒマシタ。

ネズミノ オトウサンハ、風ノ  
トコロへ行ッテ、

「セカイ中デ、一バン エライ  
アナタニ、ムスメヲ アゲタ  
イト 思ヒマス。」

トイヒマシタ。

風モ コトワリマシタ。

「セカイ中ニハ、私ヨリ モツ」

トエライ 人ガ キマスカラ。  
トイヒマシタ。

ネズミノ オトウサンハ、

「ソレハダレ デスカ。」

トタヅネマシタ。

風ハ、

「ソレハ カベサン デス。イ



クラ 私ガ チカライツパイ 吹イテモ、カベ  
サンハヘイキデキマス。カベサンニハ  
カナヒマセン。』

トイヒマシタ。

ネズミノオトウサンハ、カベノトコロヘ行  
ツテ、

「セカイ中デ、一バンエライアナタニ、ムス  
メヲアゲタイト思ヒマス。』

トイヒマシタ。

カベモコトワリマシタ。

「セカイ中ニハ、私ヨリモツトエライ人ガ  
キマスカラ。』

トイヒマシタ。

ネズミノオトウサンハ、

「ソレハダレデスカ。』

トタヅネマシタ。

カベハ、

「ソレハ、ネズミサン デス。ネズミサンニ  
ガリガリト カジ  
ラレテハ、タマリ  
マゼン。」

トイヒマシタ。

ネズミノオトウサンハ、「ナルホド、セカイ中  
デ一バン エライノハ、ネズミダ。」ト思ヒ

マシタ。

ネズミノオトウサンハ、ムスマヲ、キンジョノ  
ネズミノオヨメサンニシマシタ。

十八 シヤシン

センチノニイサン、オゲンキ デスカ。

ケフ、ミンナデ、シャシンヲ ウツシマシタ。  
キタラ、スグ 送リマス。

ナヘ シヤシン

マン中ニ、オディイサント  
オバアサンガ オカケニ  
ナリ、ソノワキニ、オト  
ウサンント オカアサンガ  
オカケニ ナリ、ウシロ  
ニ、ネエサンント 私ガ 立  
チマシタ。私ハ、セイガ  
ヒククテ 力ホガ 出ナ



イノデ、ハコノ 上ニ 立チマシタ。  
「コノ シヤシンヲ ニイサンガ 見タラ、ドン  
ナニ ヨロコブ コト デセウ。  
ト、オバアサンガ オツシャイマシタ。  
オトウサンガ、

「シャシンニ、コエモ ウツルト イイガナ。」  
ト オツシャルト、オディイサンガ、

「手ガミヲ ヤレバ イイサ。 ゲンキデ、オク

ニノタメニ シツカリ ハタラケト、カイテ  
ヤラウ。

トオツシャイマシタ。

私ハ、マイアサ、ニイサンノ シャシンニ、「オ早  
ウ」ヲ イヒマス。

十九 カゲエ

「ヲヂサン、コンヤモ マタ、カゲエヲ、シテ

見セテ クダサイ。」

「ヨロシイ。デハ、ヤ

リマスヨ。

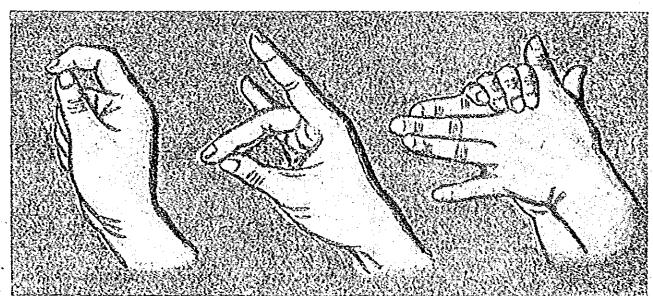
サア、犬 デス。

ワン ワン。

コンドハ キツネ。

コン コン。

コレハ トビ。





クチバシヲ ゴラン。

「早ク センドウサン」

ヲ 見セテ クダサイ。

「ハイ、コレハ センドウサン。

長イ 竹ノ サヲデ、舟ヲ コギマス。

「コンドハ、私ガ ヤツテ ミマセウ。

「ホウ、ナニヲ ヤルカナ。」

「ヲデサン、コレハ ナン デスカ。」

「サア、ナン ダラウ。手ノ 上ニ ゴムマリヲ

ノセテ 井ルネ。」

「サウ デス。」

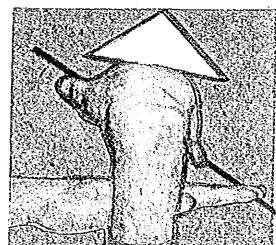
「フウ センカナ。」

「イイエ、チガヒマス。」

「デハ、チキウ ダラウ。」

「イイエ、コレハ、オ月サマガ 雲カラ 出テ

來ル トコロ デス。」



## 二十 日本のしるし

日本のしるしにはたがある。

朝日をうつした

日の丸のはた。

日本のしるしに山がある。

すがたのりっぱな

ふじの山。

日本のしるしに

うたがある。

ありがたいうた、

君が代のうた。

## 二十一 花サカヂヂイ

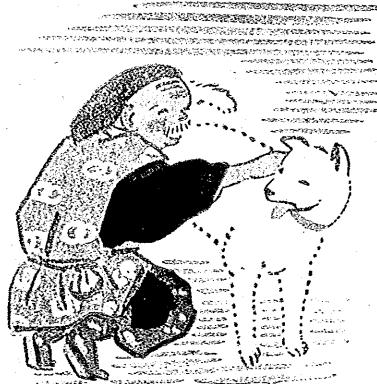
ムカシ ムカシ、アルトコロニ、オヂイサンガアリマ  
シタ。犬ヲ一ピキ カツテ、タイ  
ソウ カハイガツテ 犬マシタ。

アル日、犬ガ 畠ノスミニデ、

「ココ ホレ、ワンワン、

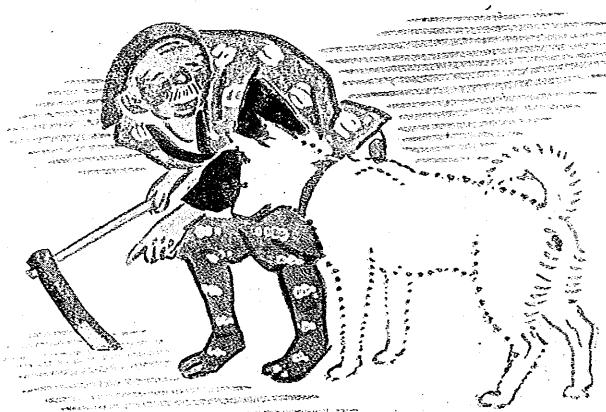
ココ ホレ、ワンワン、

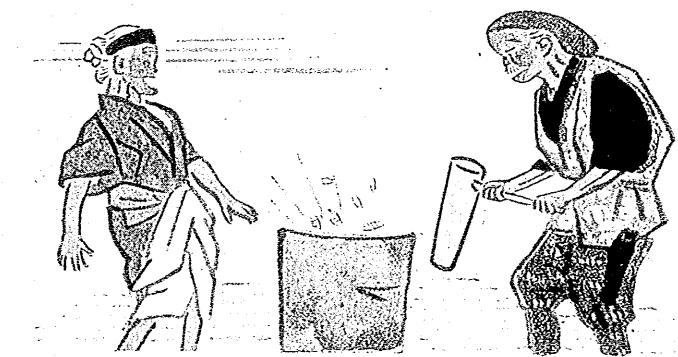
トナキマシタ。



オヂイサンガ、ソコヲ ホツ  
テ ミマスト、土ノ 中カラ、オ  
カネヤ タカラモノガ、タクサ  
ン 出マシタ。

トナリノ オヂイサンハ、ヨ  
クノ フカイ人 デシタ。コ  
ノ 話ヲ キイテ、犬ヲ カリニ  
來マシタ。ムリニ 犬ヲ ナカ  
セテ、畠ヲ ホツテ ミマスト、





キタナイ モノバカリ 出マシタ。  
オデイサンハ、オコツテ 犬ヲ コロシテ シマヒマシタ。

犬ヲ カハイガツテ 卮タ オヂ  
イサンハ、タイソウ カナシニマシタ。犬ノ オハカラツクツテ、ソコ  
ヘ、小サナ 松ヲ 一本 ウエマシタ。  
松ハ、ズンズン 大キク ナリマシタ。オデイサンハ、ソノ 松ノ木

デ、ウスヲ コシラヘマシタ。ソレデ 米ヲ ツクト、

オカネヤ タカラモノガ、タクサン 出マシタ。

トナリノ オディサンハ、マタ ソノ ウスヲ カリニ 来マシタ。

米ヲ ツイテ ミマスト、キタナイモノバカリ 出マシタ。マタ オ

コツテ、ウスヲ コハシテ、火ニ クベテ シマヒマシタ。

犬ヲ カハイガツテ 卮タ オヂ





イサンハ、ソノ 灰ヲ モラツ  
テ來マシタ。スルト、風ガ吹  
イテ來テ、灰ヲトバシマシタ。  
ソレガ、カレ木ノ 枝ニ カカツ  
ダカト、思フト、一ドニ パツ  
ト花ガ 咲キマシタ。

「花サカヂヂイ、花サカヂヂイ。カレ木ニ 花ヲ 咲カセ

マセウ。」

トイツテ、アルキマシタ。

トノサマガ オ通リニ ナツテ、

「コレハ オモシロイ。花ヲ

咲カセテ ゴラン。」

ト オツシャイマシタ。

オヂイサンハ 木ニ ノボッテ、

灰ヲ マキマシタ。スルト、カレ

木ニ 花ガ 咲イテ、一ドニ 花ザ



カリニ ナリマシタ。

トノサマハ、

「コレハ フシギダ。キレイダ、キレイダ。」

ト オホメニ ナッテ、ゴハウビヲ タクサン クダサイ  
マシタ。

トナリノ オヂイサンハ、ノコッテ 牛タ 灰ヲ カキ  
アツメテ、カレ木ニノボツテ、トノサマノ オカヘリヲ  
マツテ 牛マシタ。ソコヘ、トノサマガ オ通リニ ナッテ、  
「モウ 一ド、花ヲ 哀カセテ ゴラン。」

ト オツシャイマシタ。

オヂイサンハ、灰ヲ ツカンデ マキマシタ。イクラ  
マイテモ、花ハ 哀キマセン。シマヒニ、灰ガ、トノサマ  
ノ 目ヤ 口ニ ハイリマシタ。

トノサマハ、

「コレハ ニセモノダ。ワルイ ヤツダ。」

ト オツシャイマシタ。

オヂイサンハ、トウトウ シバラレテ シマヒマシタ。

二十二 ユメ

ユウベ、ネドコニ ハイツテカラ 考へマシタ。

私ニハ、オトウサンモ アリマス。 オヂイサンモ アリマス。 ケレドモ、オヂイサンソ オトウサンハ、オイデニ ナリマセン。

今ハ、オイデニ ナラナイガ、前ニハ、オイデニ ナツタニ チガヒアリマセン。 ソレハ、ドンナ オカタデアツタ デセウ。

コンナ コトヲ 考へテ 牛ル ウチニ、イツノマニカネムツテ シマヒマシタ。

ユメニ、ヒロイノハラヲ 見マシタ。  
花ガ 一メンニ 哉イテ、テフテフガ トンデ 牛マシタ。

ソコヘ、一人ノ オヂイサンガ 出テ 来マシタ。 見ルト、私ノ オヂイサンニ ヨクニタ カタ デシタ。

私ハ 思ハズ、

「オヂイサン」

トイヒマスト、ソノカタハ、  
「ワタシハ、オマヘノオヂイサンノオトウサンダヨ。  
トイッテ、ニコニコナサイマシタ。

### 二十三 机とこしかけ

先生が、こんなお話をなさいました。

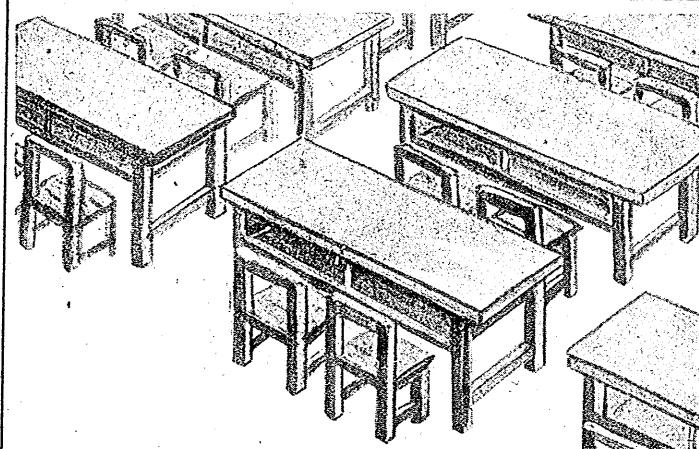
「みなさんのつかつてゐる机もこしかけも、長い間はたらいてゐます。

二年生も、これでべんきやうをしました。三年生

も、これでべんきやうをしました。

四年の人も、五年の人も、六年の人も、その前の人も、これをつかひました。みなさんの生まれる前から、この机もこしかけもあつたのです。

ここまでお話をきいた



とき、ふと、私は、ゆうべのゆめのことを思ひ出しました。

先生は、つづけておっしゃいました。

「こんど、みなさんが二年生になつたら、新しい一年生がはいって来て、またつかひます。この机やこしがけを、かはいがつてやりませうね。」

#### 二十四 ウグヒス

「勇サン、モウ七時スギマシタ。早クオキナイト、  
學校ガオクレマスヨ。」

ト、ネエサンガイヒマシタ。

「ハイ。」

ト、勇サンハヘンジラ  
シマシタガ、マタネテ  
シマヒマシタ。

「勇サン、勇サン、早ク  
オキナイト、學校ガ



オクレマスヨ。」

ネエサンハ、前ヨリモ 大キナ コエデ イヒマシタ。

勇サンハ、スク オキヨウト 思ヒマシタ。ケレドモ、  
ネムクテ ネムクテ タマリマセン。

ソノ時、庭ノ 方デ、

「ホウ ホケキヨ。」

ト、ナク コエガ シマシタ。

ネエサンハ、

「アラ、ウグヒスヨ。」

ト イッテ、シャウジノ ガラスカラ 外ヲ 見ナガラ、

「モウ 春 デス。勇サンモ、チキ 二年生デハ アリマ  
センカ。サア、早ク オオキナサイヨ。」

トイヒマシタ。

勇サンハ トビオキマシタ。

庭デハ マタ ウグヒスガ、

「ホウ ホケキヨ。」

ト ナキマシタ。

## 二十五 つくし

ほかほかど

あつたかい日に、  
つくしのばうやは  
目がさめた。  
つくしだれの子、  
すぎなの子。

土手の土

そつとあげて、

つくしのばうやは  
のぞいたら、

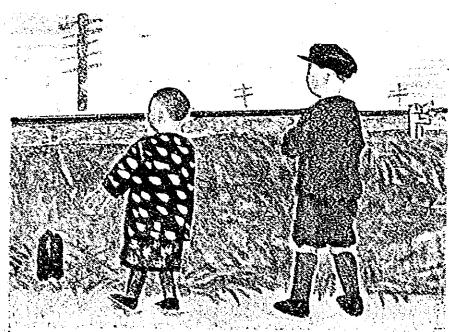
外はそよそよ

春の風。

「ゴー。」

二十六 汽車

と、とほくの方で 音が  
しました。  
「汽車だ。正ちゃん、見に  
行かう。」  
ぼくたちは、畠の中の  
みちを走って、せんろの方へ 行きました。  
汽車は ぐんぐん 大きくなつて、こつちへ  
来ます。



「くわもつ列車だ。長い、長い。」

と、にいさんが いひました。

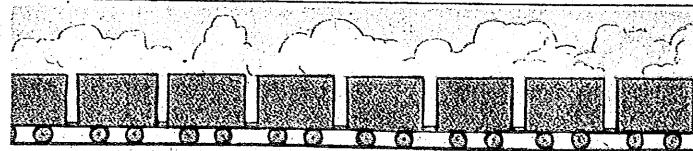
「シユツ、シユツ、シユツ、シユツ。」

と、きくわん車が 大きな 音をたてて 来ま  
した。

「いくつ あるか、かぞえてみよう。」

と、にいさんが いひました。

いろいろはこの 車が、あとから あとから  
やつて 来ます。



「一、二、三、四、五、六、七、八。」

とかぞへて、十八まで來た時、牛のたくさんのつてゐる車が、いくつか通りました。「おや」と思つてゐる間に、ぼくは、車のかずがわからなくなりました。

牛のあとから、大きな木をつんだ車や、石をつんだ車が、いくつもいくつも通りました。おしまひごろになると、にいさんは、大きなこゑを出してかぞへました。

「四十六、四十七、四十八。みんなで四十八

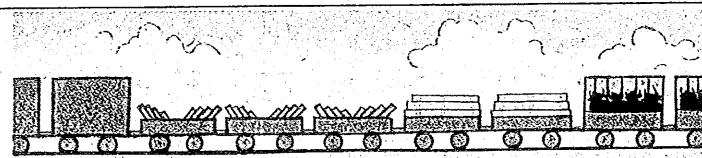
あつた。」

といひました。

汽車はだんだん小さくなつて、とほくの方へ行つてしまひました。

ぼくは、さつき見た牛のことを考へて、

「ぼくも汽車にのりたいなあ」と思ひました。



汽	考	朝	郎	冰	笑	灰	西	村
(103)	(94)	(84)	(59)	(51)	(42)	(29)	(18)	(4)
車	今	九	次	雪	客	林	夕	海
(103)	(94)	(84)	(60)	(52)	(44)	(31)	(18)	(5)
走	机	君	工	竹	學	行	赤	青
(104)	(96)	(85)	(60)	(52)	(45)	(31)	(20)	(5)
列	先	代	生	炭	校	音	東	方
(105)	(96)	(85)	(65)	(55)	(45)	(31)	(20)	(6)
牛	間	畠	思	口	私	弟	秋	天
(106)	(96)	(86)	(66)	(55)	(47)	(33)	(23)	(7)
	年	土	雲	光	呼	火	柿	外
	(96)	(87)	(69)	(55)	(48)	(34)	(23)	(7)
	新	話	風	持	馬	消	早	枝
	(98)	(87)	(71)	(56)	(48)	(34)	(25)	(8)
	時	米	吹	舟	冬	里	長	店
	(98)	(89)	(71)	(57)	(50)	(39)	(26)	(10)
	庭	咲	送	兵	池	病	栗	急
	(100)	(90)	(77)	(58)	(50)	(40)	(28)	(14)
	春	通	立	太	妹	氣	前	正
	(101)	(91)	(78)	(59)	(50)	(40)	(29)	(17)

昭和十六年八月八日印刷  
昭和十六年八月十一日發行

(非賣品)

### 著作権所有

發著作者兼

文 部

省

井 上 源 之 丞

東京市下谷區二長町一番地  
凸版印刷株式會社

印 刷 所

凸 版 印 刷 株 式 會 社